

(1) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	河川維持修繕事業 ^{テンリュウ} (天竜川水系天竜川下流)		
事業主体	国土交通省		
施行地	静岡県浜松市浜名区上島地先 ^{ハママツ ハマナ カミジマ}		
事業費	305,000 (千円)	国費	305,000 (千円)
内容	令和6年4月17日～18日の豪雨により天竜川で河岸洗堀が生じた。今後の豪雨によって河岸浸食が進行し、堤防決壊による後背地への被害を防ぐため、推進費を活用して緊急的に河岸補修工(盛土工等)を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和6年4月の豪雨による被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、盛土工等を実施する

【位置図】

施行箇所

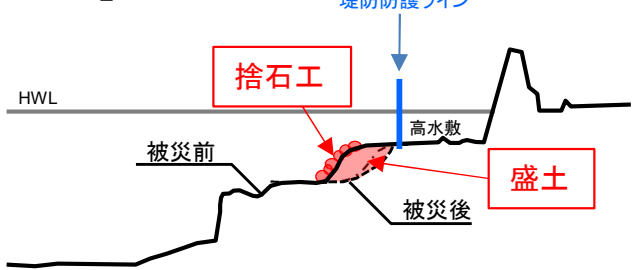
静岡県



【断面図】

A-A' 断面

堤防防護ライン



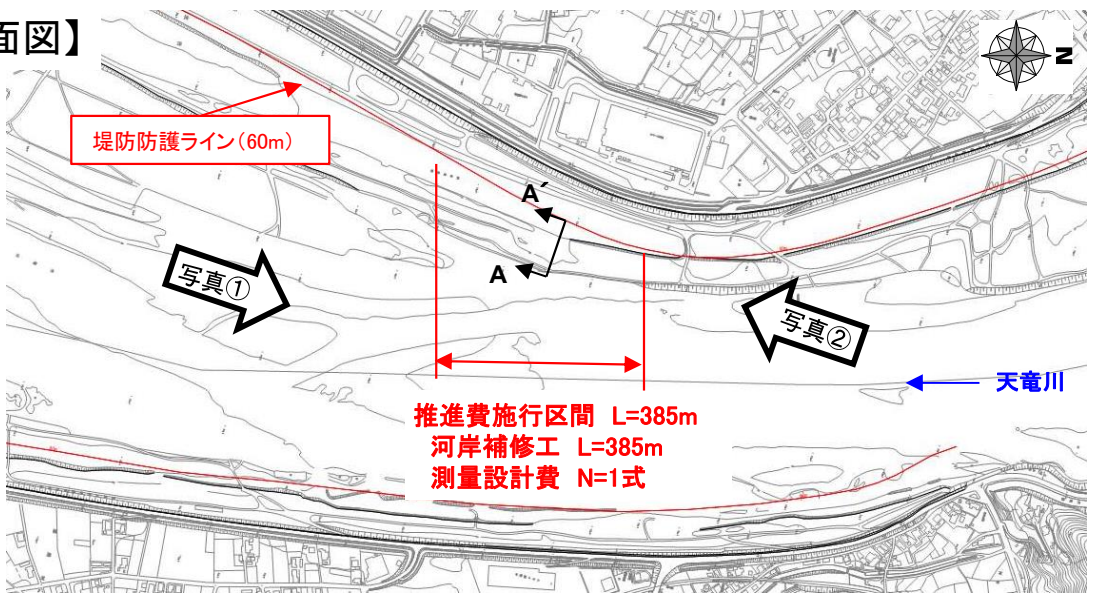
【平面図】

堤防防護ライン(60m)

写真①

写真②

推進費施行区間 L=385m
 河岸補修工 L=385m
 測量設計費 N=1式



写真①



写真②



(2) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	河川維持修繕事業(天竜川水系三峰川) ^{テンリュウ ミヅ}		
事業主体	国土交通省		
施行地	長野県伊那市美篤地先 ^{イナ ミズ}		
事業費	205,000 (千円)	国費	205,000 (千円)
内容	令和6年3月28日～29日の豪雨により三峰川で護岸損傷が生じた。今後の豪雨によって護岸崩落が進行し、堤防決壊による後背地への被害を防ぐため、推進費を活用して緊急的に護岸改修工(根継工等)を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和6年3月の豪雨による被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、根継工等を実施する

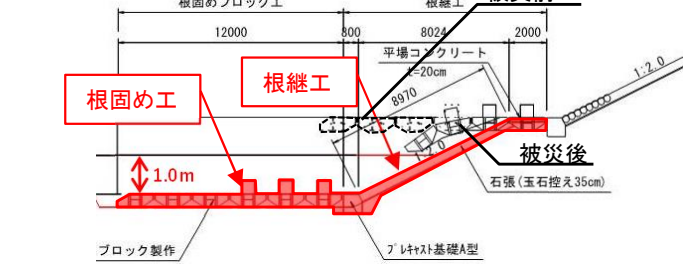
【位置図】



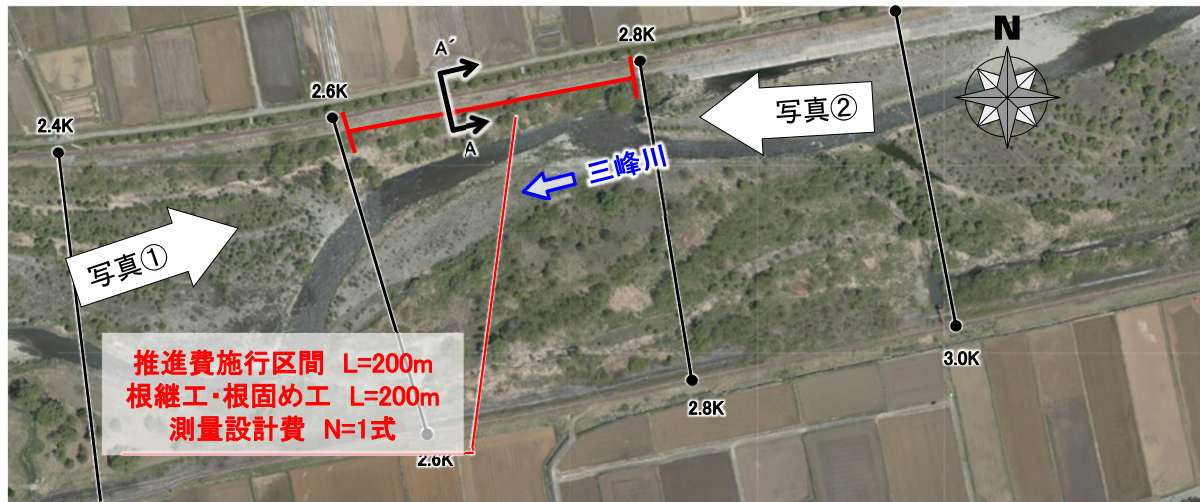
【拡大図】



【断面図】



【平面図】



写真①



写真②



(3) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	河川維持修繕事業(天竜川水系天竜川上流) ^{テンリュウ}		
事業主体	国土交通省		
施行地	長野県駒ヶ根市東伊那地先 ^{コマガネ ヒガシイナ}		
事業費	175,000 (千円)	国費	175,000 (千円)
内容	令和6年3月28日～29日の豪雨により天竜川で護岸損傷が生じた。今後の豪雨によって護岸崩落が進行し、堤防決壊による後背地への被害を防ぐため、推進費を活用して緊急的に護岸改修工(根継工等)を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和6年3月の豪雨による被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、根継工等を実施する

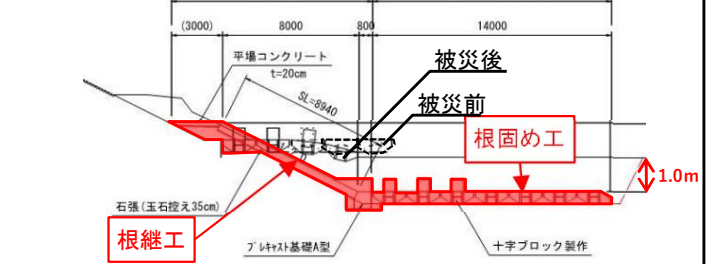
【位置図】



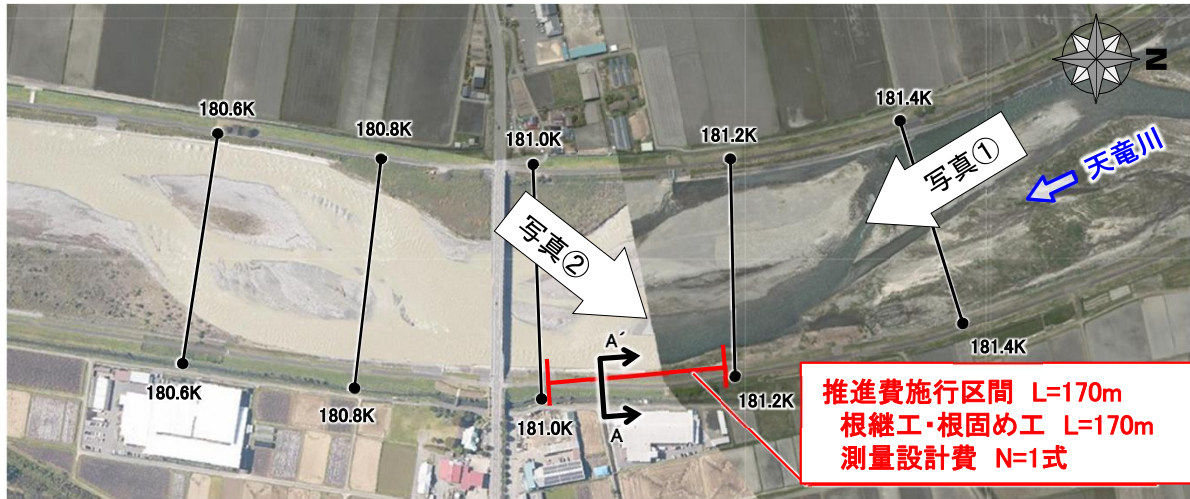
【拡大図】



【断面図】



【平面図】



写真①



写真②

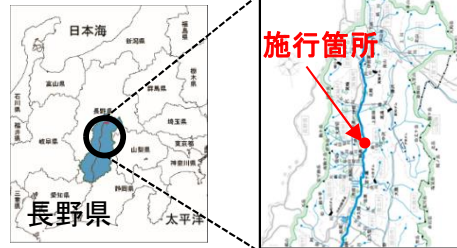


(4) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	河川維持修繕事業 ^{テンリュウ} (天竜川水系天竜川上流)		
事業主体	国土交通省		
施行地	長野県 ^{コマガネ ナカザワ} 駒ヶ根市中沢地先		
事業費	205,000 (千円)	国費	205,000 (千円)
内容	令和6年3月28日～29日の豪雨により天竜川で護岸損傷が生じた。 今後の豪雨によって護岸崩落が進行し、堤防決壊による後背地への被害を防ぐため、推進費を活用して緊急的に護岸改修工(根継工等)を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和6年3月の豪雨による被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、根継工等を実施する

【位置図】



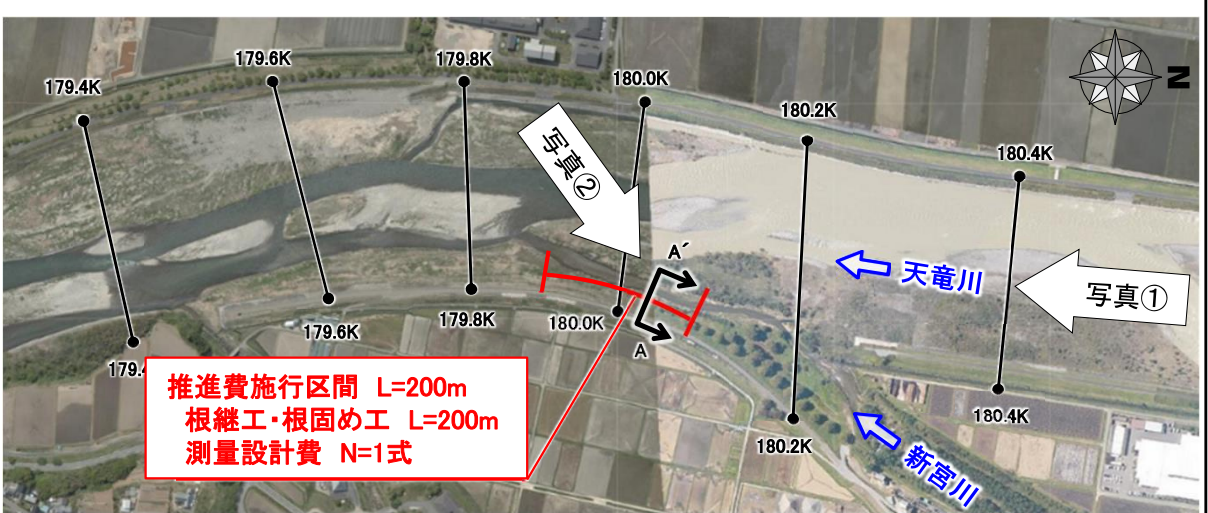
【拡大図】



【断面図】



【平面図】



写真①



写真②



(5) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

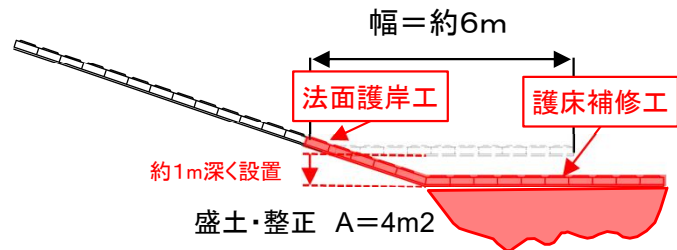
事業名	河川維持修繕事業(木曾川水系木曾川)		
事業主体	国土交通省		
施行地	岐阜県加茂郡坂祝町酒倉地先		
事業費	10,000 (千円)	国費	10,000 (千円)
内容	令和6年4月8日～9日の豪雨により木曾川で護床工損傷が生じた。 今後の豪雨によって護岸崩落が進行し、堤防決壊による後背地への被害を防ぐため、推進費を活用して緊急的に護岸改修工(法面護岸工等)を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和6年4月の豪雨による被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、法面護岸工等を実施する

【位置図】



【断面図】 A-A' 断面



【平面図】



写真①



写真②



(6) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

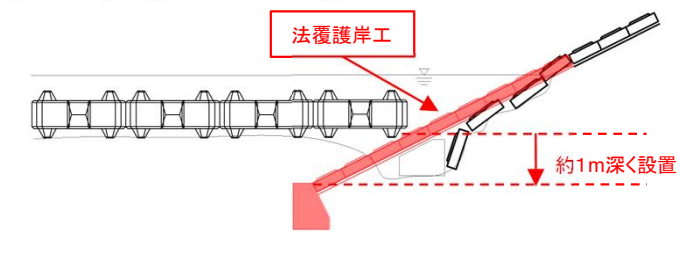
事業名	河川維持修繕事業(木曾川水系長良川) ^{キノ ナガラ}		
事業主体	国土交通省		
施行地	岐阜県岐阜市日置江地先 ^{ヒキエ}		
事業費	50,000 (千円)	国費	50,000 (千円)
内容	令和6年3月28日～29日の豪雨により長良川で護岸損傷が生じた。今後の豪雨によって護岸崩落が進行し、堤防決壊による後背地への被害を防ぐため、推進費を活用して緊急的に護岸改修工(法覆護岸工)を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和6年3月の豪雨による被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、法覆護岸工を実施する

【位置図】



【断面図】



【平面図】



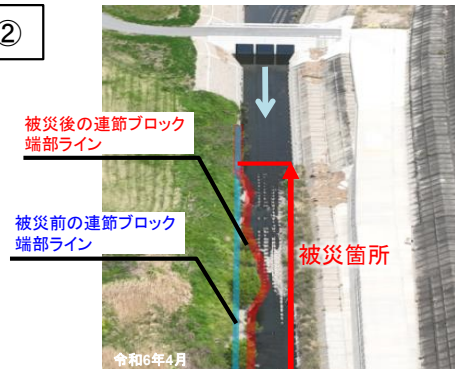
写真①



令和6年4月

河岸洗堀により
低水護岸の基礎が沈下し損傷

写真②

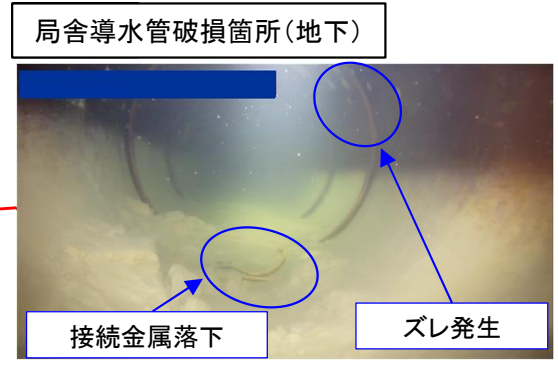
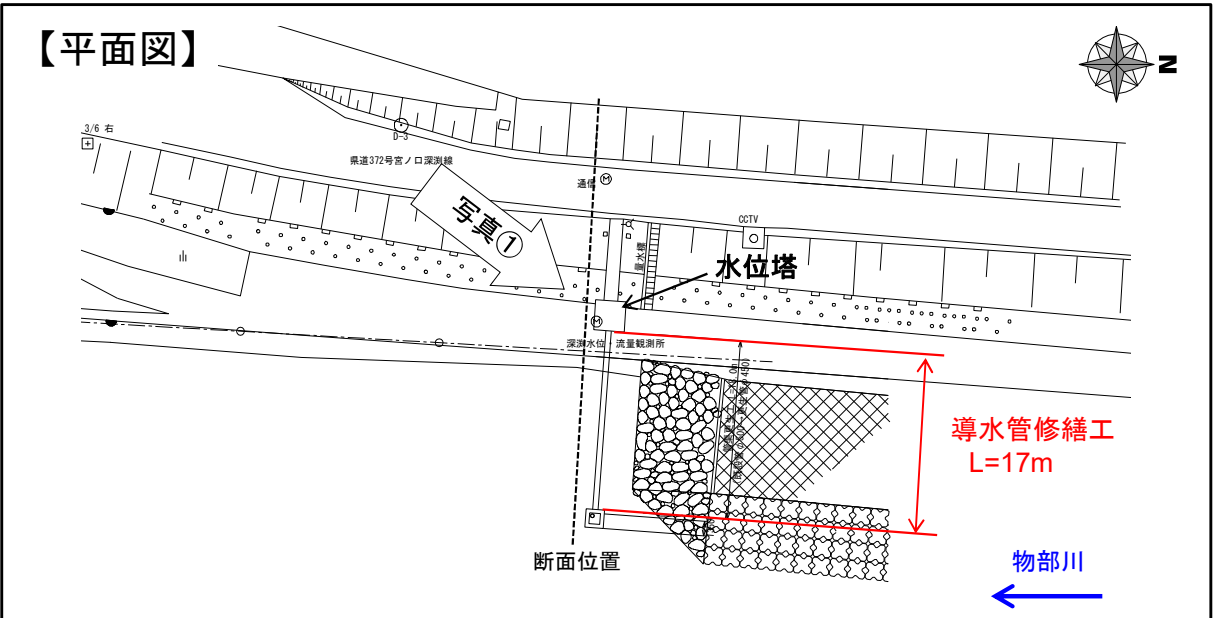
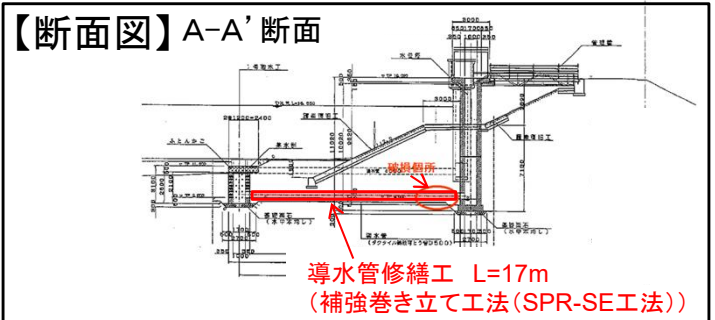


令和6年4月

(7) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	河川維持修繕事業(物部川水系物部川) ^{モノベ}		
事業主体	国土交通省		
施行地	高知県香南市野市町深淵地先 ^{コウナン ノイチ フカブチ}		
事業費	35,000 (千円)	国費	35,000 (千円)
内容	<p>令和5年9月11日の豪雨により物部川の深淵水位観測所で導水管破損が生じた。</p> <p>今後の豪雨に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に深淵水位観測所の導水管修繕を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。</p>		

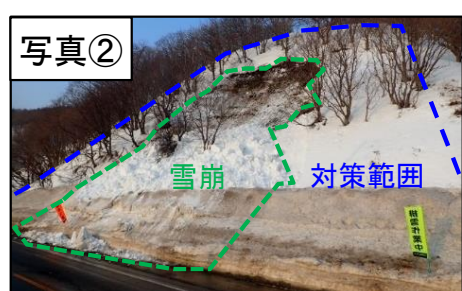
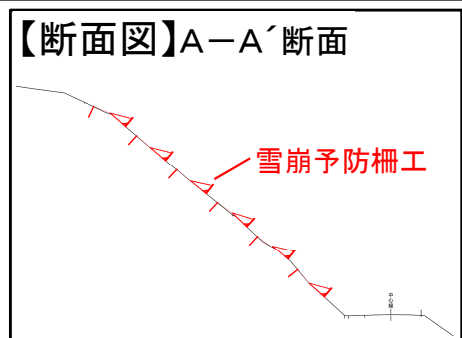
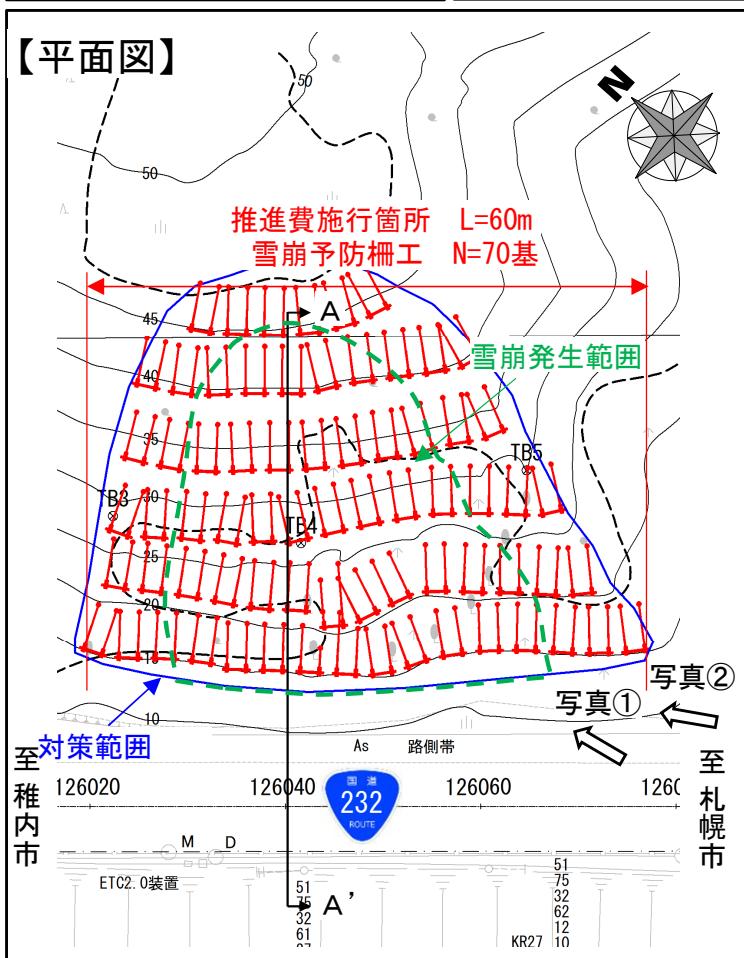
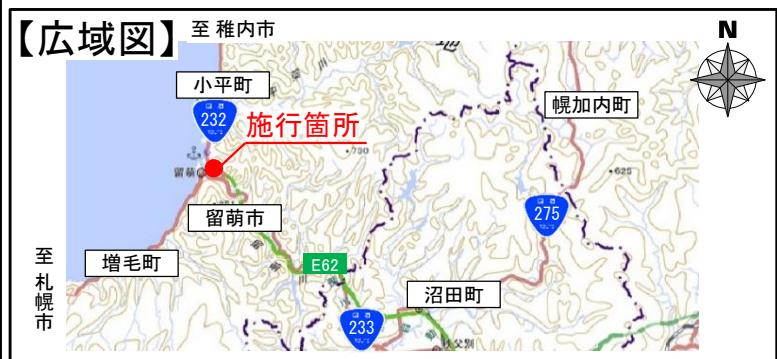
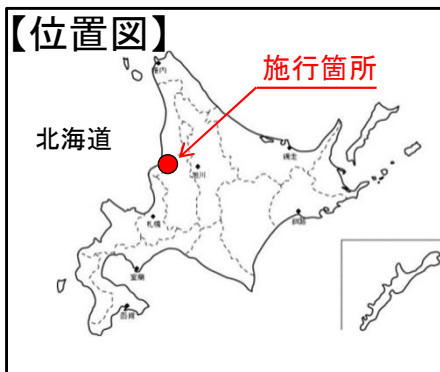
令和5年9月の豪雨による被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、導水管修繕工を実施する



(8) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	道路維持管理事業(一般国道232号)		
事業主体	国土交通省		
施行地	ルモイ カスガ 北海道留萌市春日町地先		
事業費	120,000 (千円)	国費	120,000 (千円)
内容	令和6年2月13日～14日に一般国道232号で雪崩が発生し、通行規制を行った。 このため、推進費を活用して緊急的に雪崩対策工(雪崩予防柵工)を行うことで再度災害防止を図り、通行者の安全・安心を確保する。		

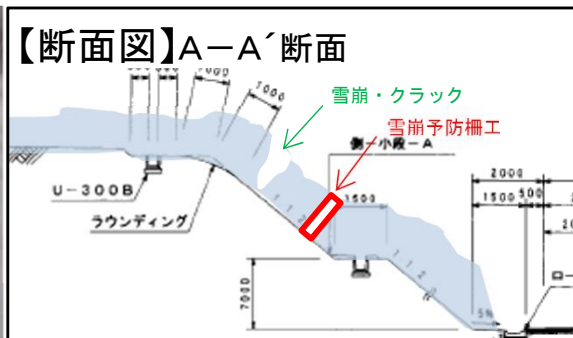
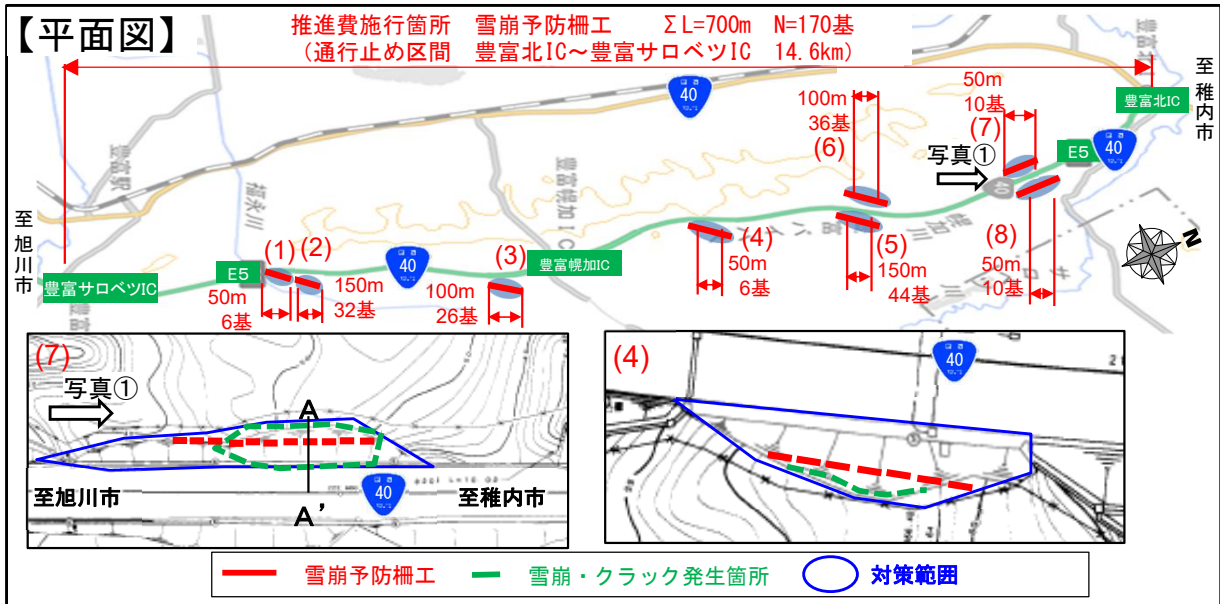
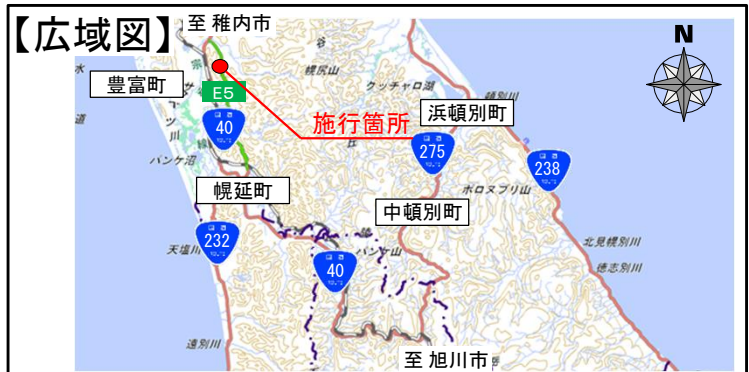
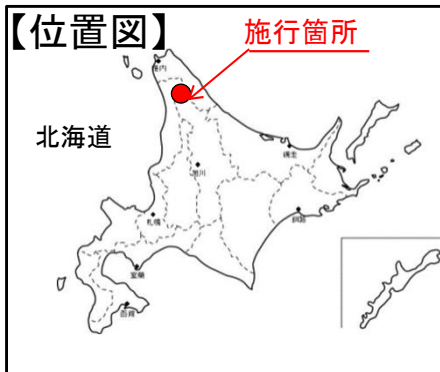
令和6年2月の雪崩による被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、雪崩予防柵工を実施する



(9) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	道路維持管理事業(一般国道40号(北海道縦貫自動車道))		
事業主体	国土交通省		
施行地	北海道天塩郡豊富町字修徳地先		
事業費	300,000 (千円)	国費	300,000 (千円)
内容	<p>令和6年2月14日に一般国道40号(北海道縦貫自動車道)で雪崩が発生し、全面通行止めを行った。</p> <p>このため、推進費を活用して緊急的に雪崩対策工(雪崩予防柵工)を行うことで再度災害防止を図り、通行者の安全・安心を確保する。</p>		

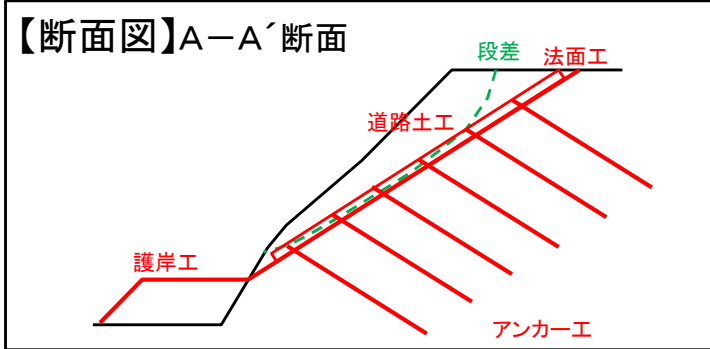
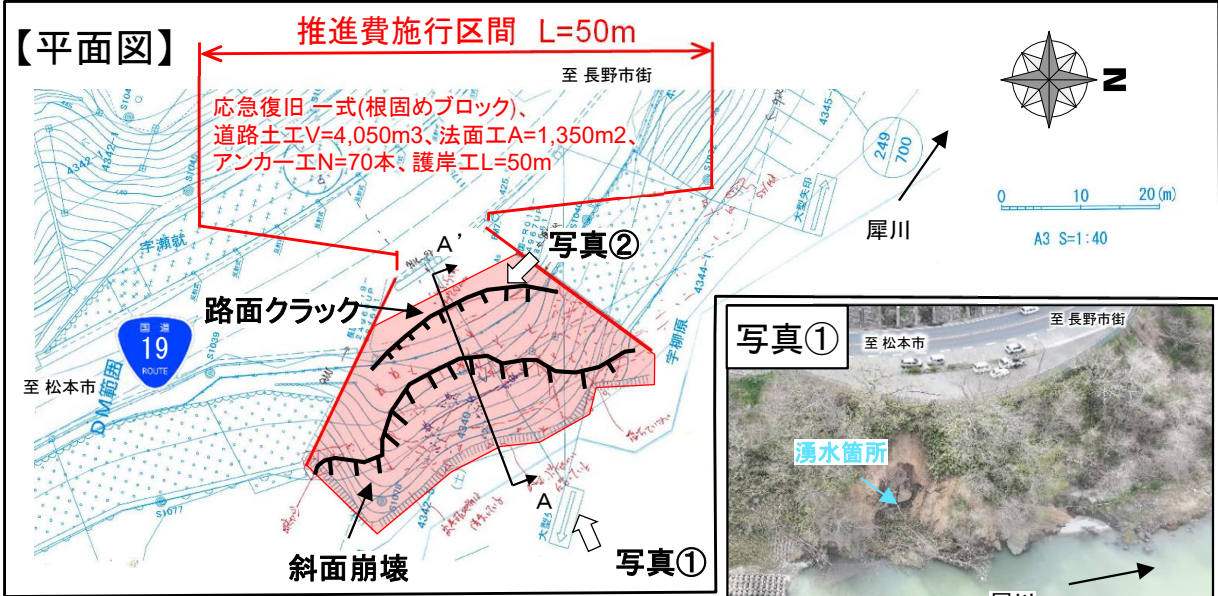
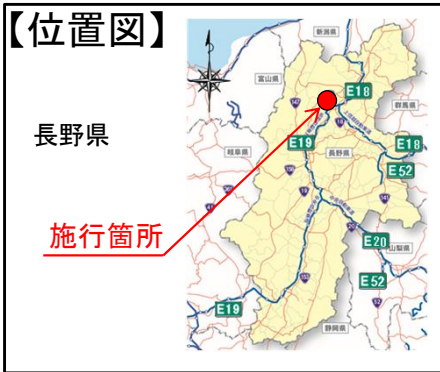
令和6年2月の雪崩による被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、雪崩予防柵工を実施する



(10) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	道路維持管理事業(一般国道19号)		
事業主体	国土交通省		
施行地	ナガノ シンシュウシン ミノチ 長野県長野市信州新町水内地先		
事業費	747,000 (千円)	国費	747,000 (千円)
内容	令和6年4月15日に一般国道19号で道路法面崩落が発生し、通行規制を行った。 このため、推進費を活用して緊急的に法面对策工(アンカー工等)を行うことで再度災害防止を図り、通行者の安全・安心を確保する。		

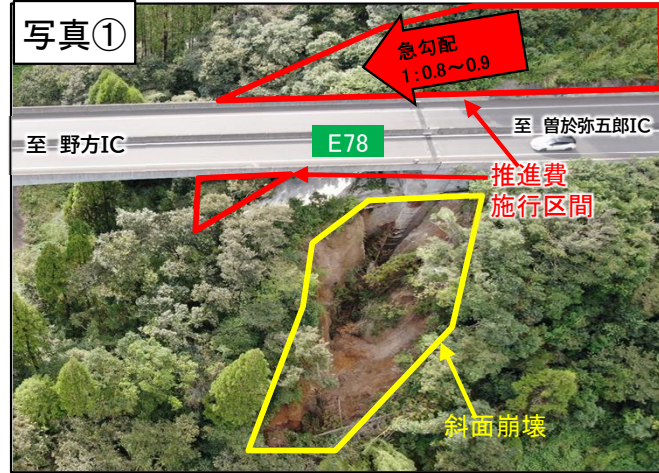
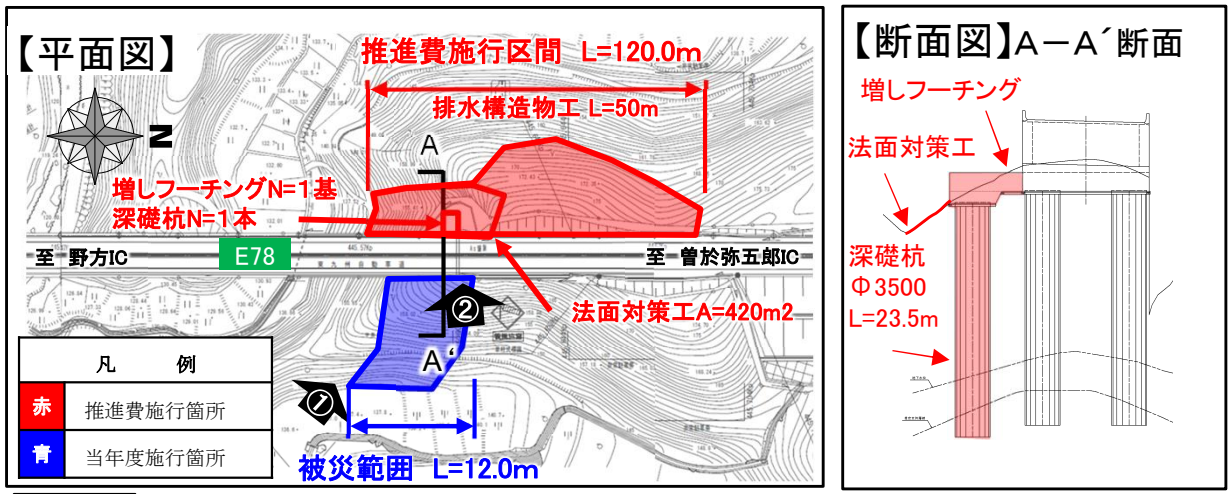
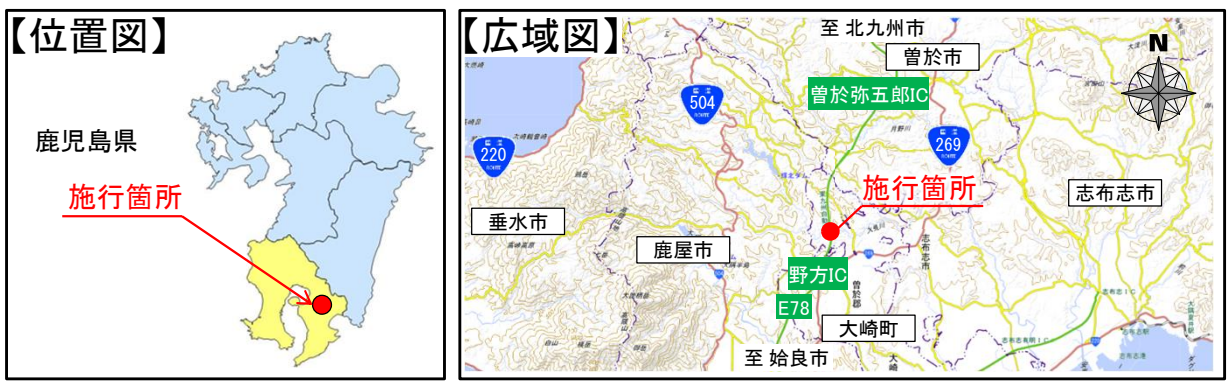
令和6年4月の崖崩れ(道路法面崩落)が発生した箇所に対して、再度災害防止対策として、アンカー工等を実施する



(11) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	道路維持管理事業(東九州自動車道)		
事業主体	国土交通省		
施行地	ソ オ オオサキ ノガタ 鹿児島県曾於郡大崎町野方地先		
事業費	200,000 (千円)	国費	200,000 (千円)
内容	令和5年9月24日に東九州自動車道で道路法面崩落を確認し、全面通行止めを行った。 このため、推進費を活用して緊急的に防災対策工(増しフーチング等)を行うことで再度災害防止を図り、通行者の安全・安心を確保する。		

令和5年9月に崖崩れ(道路法面崩落)を確認した箇所に対して、再度災害防止対策として、増しフーチング等を実施する



(12) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

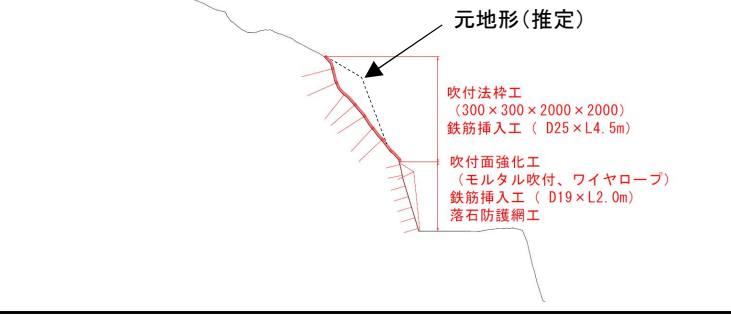
事業名	道路更新防災等対策事業(主要地方道園原インター線) <small>ソノハラ</small>		
事業主体	長野県		
施行地	長野県下伊那郡阿智村智里地先 <small>シモイナ アチ チサト</small>		
事業費	305,000 (千円)	国費	152,500 (千円)
内容	令和6年3月5日に主要地方道園原インター線で道路法面崩落が発生し、全面通行止めを行った。 このため、推進費を活用して緊急的に法面对策工(吹付法砕工等)を行うことで再度災害防止を図り、通行者の安全・安心を確保する。		

令和6年3月の崖崩れ(道路法面崩落)が発生した箇所に対して、再度災害防止対策として、吹付法砕工等を実施する

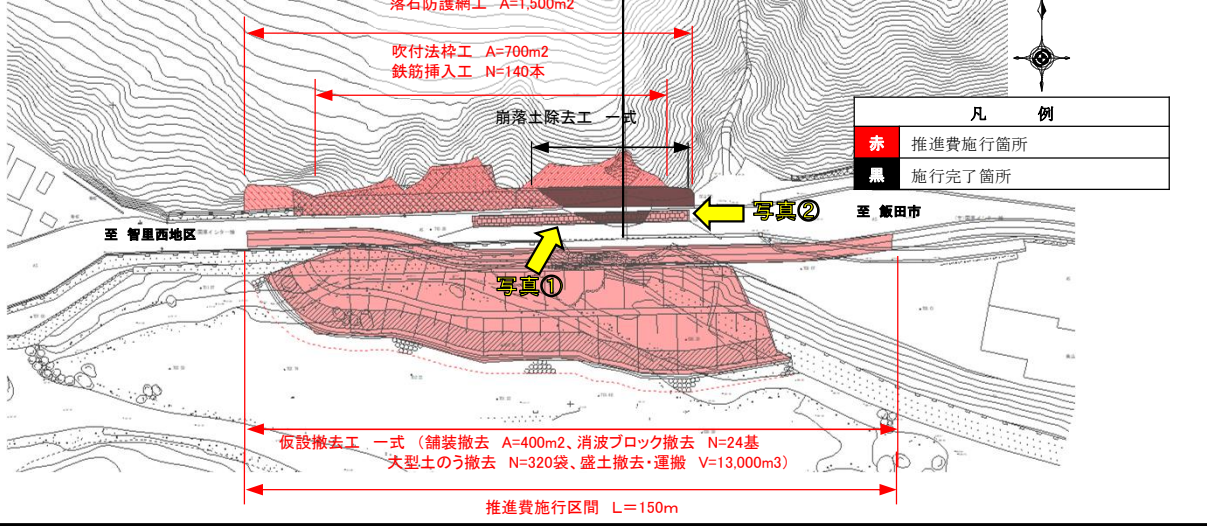
【位置図】



【断面図】A-A'断面



【平面図】



写真①



写真②



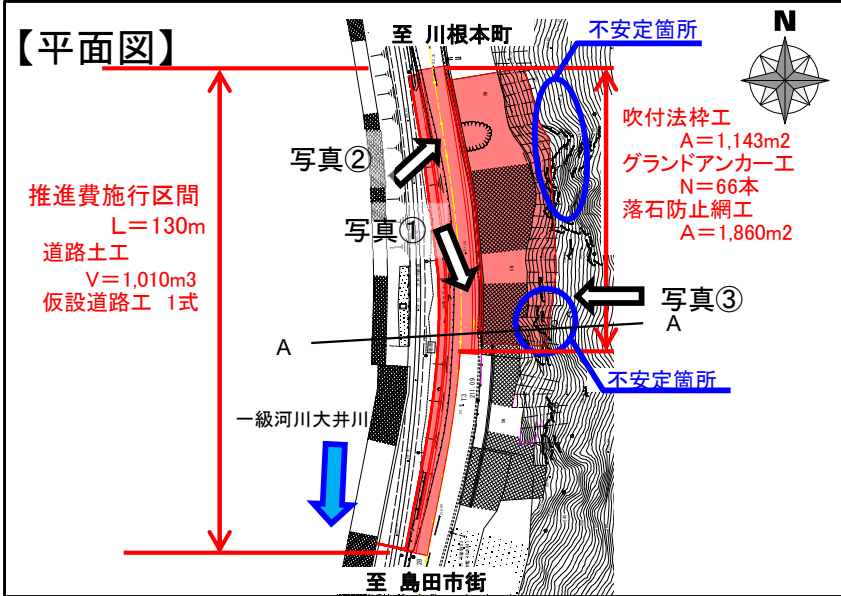
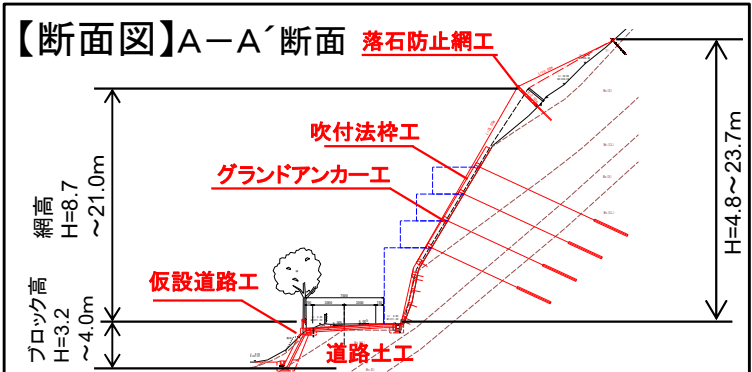
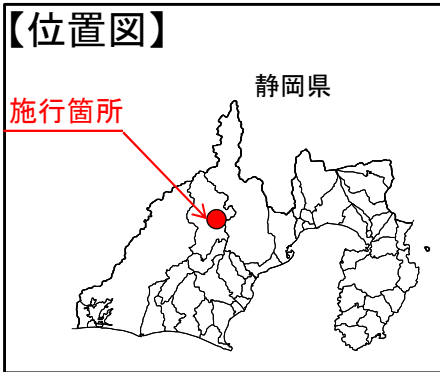
【広域図】



(13) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	道路更新防災等対策事業(主要地方道川根寸又峡線) <small>カワネスマタキョウ</small>		
事業主体	静岡県		
施行地	ハイバラ カワネホン シモイズミ 静岡県榛原郡川根本町下泉地先		
事業費	300,000 (千円)	国費	150,000 (千円)
内容	令和6年4月3日に主要地方道川根寸又峡線で道路法面崩落が発生し、全面通行止めを行った。 このため、推進費を活用して緊急的に法面对策工(吹付法砕工等)を行うことで再度災害防止を図り、通行者の安全・安心を確保する。		

令和6年4月の崖崩れ(道路法面崩落)が発生した箇所に対して、再度災害防止対策として、吹付法砕工等を実施する



写真①(がけ崩れ)



写真②(落石が頻発)



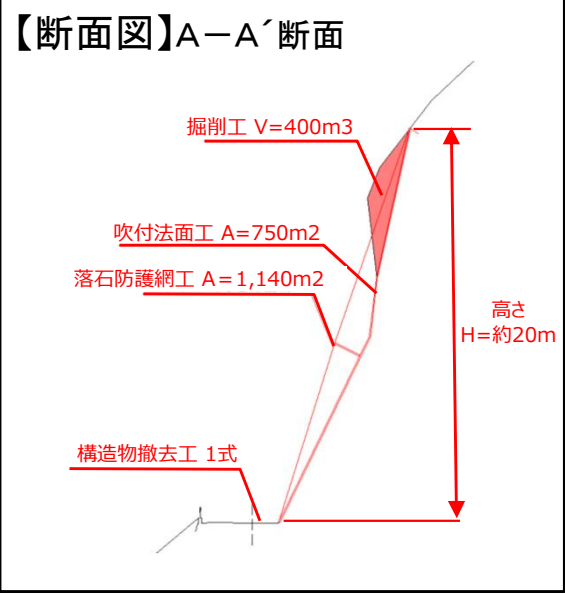
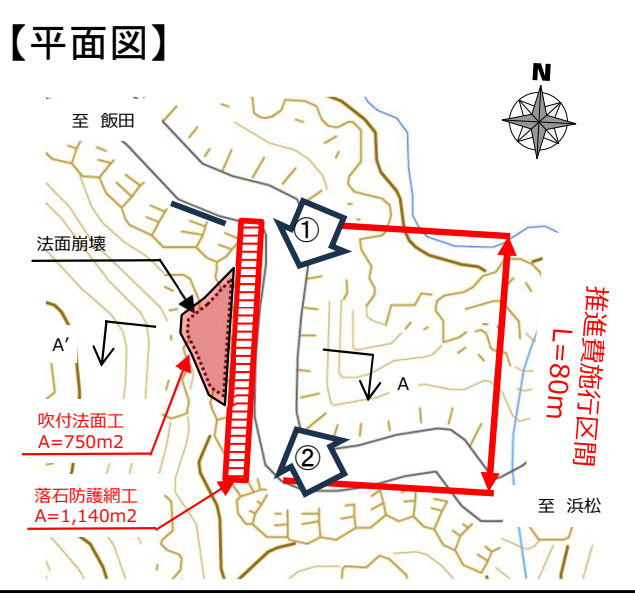
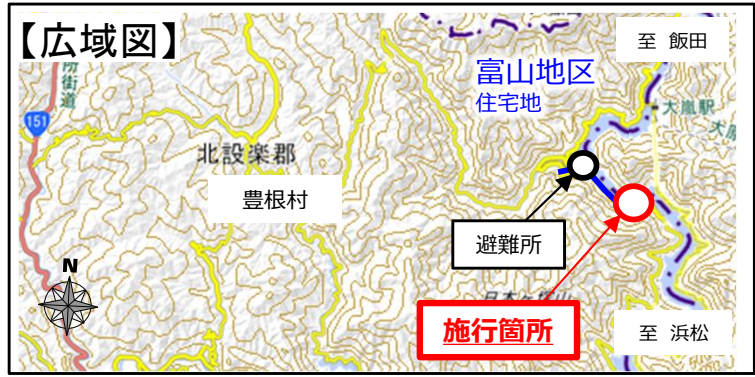
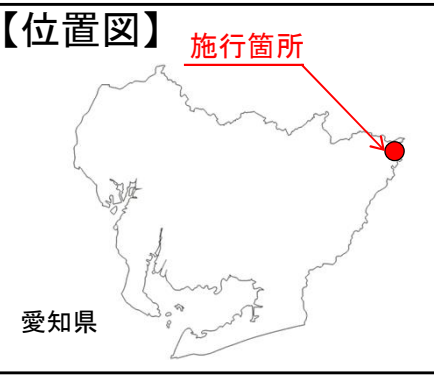
写真③(不安定土塊)



(14) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	道路更新防災等対策事業(主要地方道飯田富山佐久間線) <small>イダトミヤマサクマ</small>		
事業主体	愛知県		
施行地	愛知県北設楽郡豊根村富山地先 <small>キタシタラ トヨネ トミヤマ</small>		
事業費	35,000 (千円)	国費	17,500 (千円)
内容	令和6年2月9日に主要地方道飯田富山佐久間線で道路法面崩落が発生し、全面通行止めを行った。 このため、推進費を活用して緊急的に法面对策工(吹付法面工等)を行うことで再度災害防止を図り、通行者の安全・安心を確保する。		

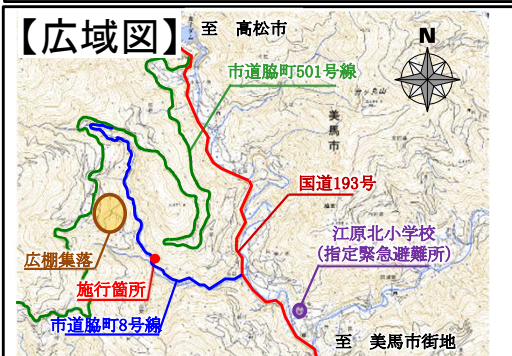
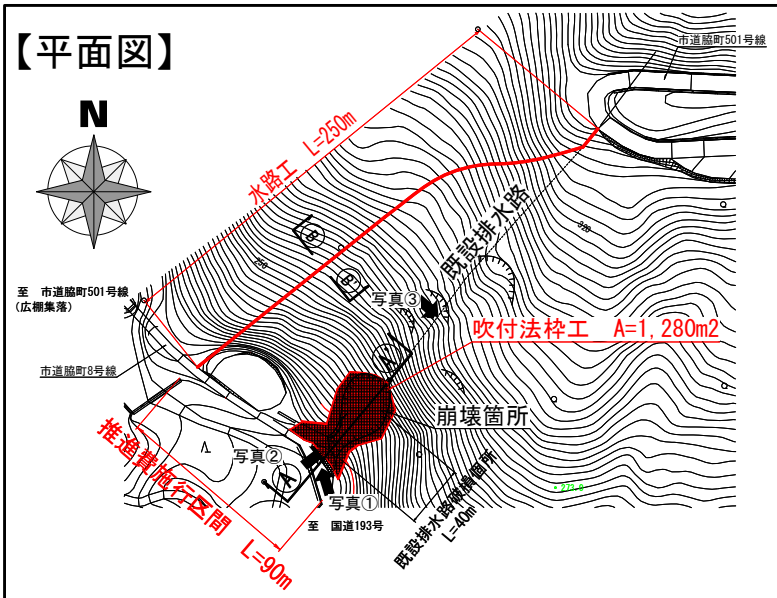
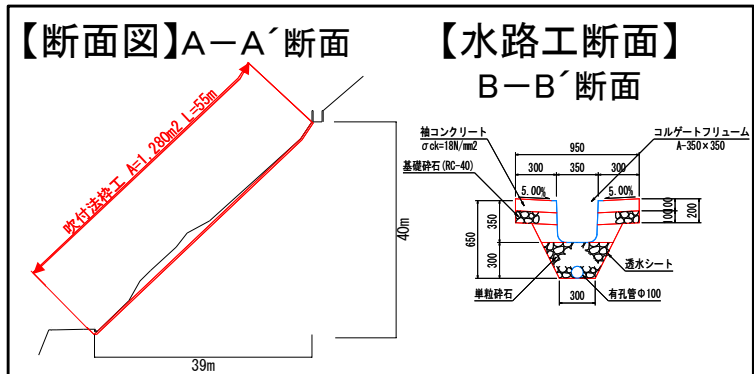
令和6年2月の崖崩れ(道路法面崩落)が発生した箇所に対して、再度災害防止対策として、吹付法面工等を実施する



(15) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	道路更新防災等対策事業(市道脇町8号線) <small>ワキマチ</small>		
事業主体	美馬市		
施行地	徳島県美馬市脇町字西赤谷地先 <small>ミマ ワキマチ ニシアカタニ</small>		
事業費	100,000 (千円)	国費	50,000 (千円)
内容	令和6年2月22日に市道脇町8号線で道路法面崩落が発生し、全面通行止めを行った。 このため、推進費を活用して緊急的に法面对策工(吹付法砕工等)を行うことで再度災害防止を図り、通行者の安全・安心を確保する。		

令和6年2月の崖崩れ(道路法面崩落)が発生した箇所に対して、再度災害防止対策として、吹付法砕工等を実施する



(16) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	道路更新防災等対策事業(一般県道宮ノ上川北線) <small>ミヤノウエカワキタ</small>		
事業主体	高知県		
施行地	高知県安芸市井ノ口乙地先 <small>アキ イノクチオツ</small>		
事業費	13,000 (千円)	国費	6,500 (千円)
内容	令和6年3月29日に一般県道宮ノ上川北線で道路法面崩落が発生し、全面通行止めを行った。 このため、推進費を活用して緊急的に法面对策工(吹付法砕工)を行うことで再度災害防止を図り、通行者の安全・安心を確保する。		

令和6年3月の崖崩れ(道路法面崩落)が発生した箇所に対して、再度災害防止対策として、吹付法砕工を実施する

